

杉並第二小学校校舎改築基本方針（たたき台）

改築基本方針（たたき台）	これまでの主な意見・要望
<p>ビジョン1 これまでの杉二小の伝統と特色を継承するとともに、高機能かつ多機能で変化に対応できる学校づくりに取り組みます。</p> <p>目標 I. 多様な学びの場を備え、質の高い学習環境を備えた学校づくり</p> <p>取組 A 一斉指導、ティームティーチング、個別・少人数指導、グループ学習など多様な学習形態に対応できる施設を整備します。</p> <p>B 電子黒板やタブレット型情報端末などのICT教育環境を充実させ、児童が自ら考え、判断し、表現する力を育む施設とします。</p> <p>C ゆとりのある広さの校庭を設け、子どもたちが元気に遊べ、進んで運動できる環境を整備します。</p>	<p>① 個別支援が可能な小部屋や多目的スペースを十分に確保（A）</p> <p>② 児童数の変化を見据え、多目的に使える施設（部屋）を設ける（増加傾向にあるクラス数に対応した教室数を確保してほしい）（A、H）</p> <p>③ 児童数の増減や、時代によって環境が変わるから、これからの学校建設のことも長期的なビジョンというのをしっかり見た上で、現実的にどうするかという考えでいかないといけない（A、H）</p> <p>④ 奇をてらったような学校というのではなく、子どもたちや先生が必要な学校生活にとって、教育にとって必要な施設がある学校（A、H）</p> <p>⑤ 図書館のさらなる充実を図ってほしい（A）</p> <p>⑥ 図工室・音楽室の広さの確保（A）</p> <p>⑦ すぎに教室を拡充してほしい（A）</p> <p>⑧ 和室を設けて、日本文化の伝統文化に関する教育を進めてほしい（A）</p> <p>⑨ 教室の廊下側に大きな窓など、みんなで子供を見る・見られるようなつくり（A）</p> <p>⑩ 子どもたちの安全や健康を最優先させた照明や光源に配慮された最先端のICT環境（B）</p> <p>⑪ 校庭の広さの十分な確保（C）</p> <p>⑫ 砂ではなく、クッション性のあるトラックにしてほしい（C）</p> <p>⑬ 芝生、素足で走れる環境にしてほしい（C）</p> <p>⑭ 校庭の水はけを改善してほしい（C）</p> <p>⑮ 校庭の周りに歩けるスペースを確保してほしい（C）</p> <p>⑯ 雨の日に遊べるオープンスペースを設けてほしい（C）</p> <p>⑰ 子どもたちの動線を考えた設計（外靴・中靴の使い分けのしやすい配置等）（C）</p>
<p>ビジョン2 善福寺川緑地等と隣接する敷地特性を生かし、周辺環境と調和し、安全・安心で快適な生活空間としての学校をつくります</p> <p>目標 II. 安全・安心で快適な生活空間としての学校づくり</p> <p>III. 善福寺川緑地等の良好な周辺環境と調和した学校づくり</p> <p>取組 D 不審者の侵入防止などの安全対策を十分に講じるとともに、子どもたちが子どもらしく伸び伸び過ごせる配置計画とします。</p> <p>E 敷地の外周道路の整備を通して地域安全性の向上を図り、安心して子どもたちが通える学校づくりを進めます。</p> <p>F 子どもたちの環境計画にも活用できるエコスクールを基本とし、快適で温もりのある施設とします。</p> <p>G 善福寺川緑地や善福寺川と近接する立地特性を踏まえ、環境に配慮し、周辺環境と調和した景観形成に取り組みます。</p>	<p>① 学校内が外部の人から見えにくい構造（D）</p> <p>② 開放感があり、死角のない校舎（D）</p> <p>③ 子どもや保護者の入校をICカードで管理、各教室に緊急通報ボタンを設置（D）</p> <p>④ 防犯カメラの設置（C）</p> <p>⑤ 校庭のフェンスを高くしてほしい、フェンスをブラインド化してほしい（D）</p> <p>⑥ さくら門から校舎に入る玄関が近すぎて、防犯の意味で危険と思われる（D）</p> <p>⑦ 廊下や階段の幅、昇降口の広さを十分に確保し、災害時に安全な避難行動がとれるようにしてほしい（D）</p> <p>⑧ 鎌倉街道を拡幅し、子どもたちの安全な通学路としてほしい（E）</p> <p>⑨ 三年坂を拡幅し、南側を消防車が入れるようにしてほしい（E）</p> <p>⑩ 杉二小北側地域の防災性能を向上させるため、杉二小北側地域に5～6mの道路を設け、鎌倉街道と善福寺川緑地に沿った道に接道させてほしい（E）</p> <p>⑪ 太陽光発電装置のスペースや屋上庭園・屋上菜園など屋上を安全に有効活用できるようにしてほしい（F、E）</p> <p>⑫ 二重窓ガラス化、出入り口の二重扉化、校舎の各階には直射日光を遮るための奥行きのある庇を設置してほしい（F）</p> <p>⑬ 校舎、敷地内での緑化、壁面緑化、ビオトープづくりを進めるのと同時に周辺地域の緑地、水辺とも連携してほしい（F、G）</p> <p>⑭ ビオトープを残してほしい、中庭的なビオトープをつくってほしい（F）</p> <p>⑮ 畑をつくってほしい（F）</p> <p>⑯ プールは地上1階（耐震上の理由）もしくは近年の猛暑から屋根付き又は日よけの設置をしてほしい（F）</p> <p>⑰ 冷暖房が完備された体育館、各教室（F）</p> <p>⑱ 善福寺川と流域コミュニティを考えた学校づくり（G）</p> <p>⑲ 周辺の緑や住環境と調和する外観（G）</p> <p>⑳ 東側の擁壁の在り方を再考し、善福寺川緑地に機能的に繋がるようにしてほしい（G）</p>

<p>ビジョン3 地域最大規模の公共施設である点を踏まえ、可能な限り小学校・地域が共用できる施設とするとともに、将来に渡って共存し続けられるよう、柔軟で効率的な施設とします。</p> <p>目標</p> <p>IV. 将来に渡って使い続けられる柔軟で効率的な学校づくり</p> <p>V. 地域とともに歩む公共空間として、地域の活動を支援する学校づくり</p> <p>VI. 地域の防災拠点としての十分な機能を備えた施設整備</p> <p>取組</p> <p>H 敷地の与条件（敷地内に段差がある点など）を踏まえるとともに、今後約80年以上使い続けられる施設であるために、将来の児童数や地域の施設ニーズの変化等にも柔軟に対応できる施設計画とします。</p> <p>I 学校と地域のつながりを重視した諸室を設置します。</p> <p>J 学童クラブの配置と小学生の放課後等居場所事業の実施し、放課後等に子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供します。</p> <p>K 地域の活動を支援するため、学校を地域開放できるようセキュリティにも配慮し、動線やゾーニングに十分な配慮を行います。</p> <p>L 成田西災害備蓄倉庫や広域避難場所である善福寺川緑地と隣接している環境を考慮し、関係機関と連携し、検討を進めます。</p> <p>M 地域の防災拠点として必要な防災設備を整備します。</p>	<p>① 地域の象徴的な建築であり、皆が誇りに思う地域とつながる学校建築としての魅力を高めてほしい（G、H）</p> <p>② 昔ながらの杉二小を残しつつ、自然豊かな品格のある校舎にしてほしい（G、H）</p> <p>③ 木造校舎にしてほしい（G、H）</p> <p>④ 木のぬくもりが感じられる校舎にしてほしい（G、H）</p> <p>⑤ 鉄筋コンクリート造として、火災の類焼を防ぐことができるようにしてほしい（D、G、H）</p> <p>⑥ 免震、制震構造にすること（D、H）</p> <p>⑦ 擁壁安定解析・検討を行い、必要に応じて補強対策工事を行ってほしい（D、H）</p> <p>⑧ 教室と廊下との間仕切りを可動式で変更しやすくしたほうがよい（H）</p> <p>⑨ 建物のボリュームを増やさないでほしい（H）</p> <p>⑩ 地域の方々や同窓生がいつでも利用できる空間をアクセスしやすい場所に設置してほしい（I、K）</p> <p>⑪ 地域開放型図書館を設置してほしい（I）（同窓会のほうから同窓会文庫ということで毎年多額の寄附と本を贈呈している）</p> <p>⑫ 学校の支援活動を活発に行うことができるような会議・作業室を設置してほしい（I）</p> <p>⑬ 地域住民に配慮した、校舎や体育館等の配置（I、K）</p> <p>⑭ わかりやすいサイン計画（K）</p> <p>⑮ 駐輪スペースを確保してほしい（K）</p> <p>⑯ 地域の防災の拠点となるようなつくりにしてほしい（K）</p> <p>⑰ 体育館に防災倉庫を設置してほしい（L）</p> <p>⑱ 成田西災害備蓄倉庫と新校舎が一体型にすることによって、さらに機能的な防災拠点としてほしい（成田西災害備蓄倉庫を校庭と同じ高さにしてほしい）（L）</p> <p>⑲ 非常用通信設備、給水設備や非常用電源、太陽光発電、校庭照明、マンホールトイレ、雨水貯留槽、バリアフリー、大型浄水器、自家用発電設備、災害緊急通信設備、防災防止用スプリンクラー、シャワーの新設やB級・C級ポンプ、消防用水等、様々な設備を充実させてほしい（L、M）</p> <p>⑳ 公園と学校の間陸橋を設置し、学校と公園の往来がしやすくするとともに、災害時に避難しやすいようにしてほしい（L、M）</p>
---	--